

NO.3

分科会名称	SDG s バンブープロジェクト推進フォーラム
代表者	山村 公人 (一般社団法人九州循環共生協議会)
メンバー (またはメンバーの所属団体等)	一般社団法人九州循環共生協議会 有限会社アプレ 一般社団法人自然と健康を守る会 フォレストセーバー 正人どんの郷
所在地	久留米市
分科会の目的	◆「地球」「経済社会」の各々プレイヤーが、SDG s というキーワードで集い 行動を起こす。 ◆各々の持続可能な発展を目指す。 ◆その題材として、地方単独で解決が難しい、【竹やぶ公害を竹関連産業で解決】し、生物多様性保全 土砂災害予防 障がい者就労支援 自然共生型産業の育成 気候変動適応策 を目指す。
目指したいゴール	竹やぶ公害に悩む地方と、都市部の消費者 企業の協働による「SDG s 共鳴型流通」の構築
関連するSDGs目標	8 9 13 15 17
活動計画	メンマ先行購入/酵素風呂回数券/幼竹収穫作業 詳細は、分科会連絡先までお尋ねください。
フォーラム会員へのメッセージ	地方のお困り事を、都市部とのパートナーシップで解決する試み 四季折々多様な木々が色鮮やかに映える里山が、時が経つにつれ、外来種の孟宗竹に覆われていた… 竹やぶ内は真っ暗で、人を寄せ付けず、猪などの格好の隠れ家・餌場（筍）となっていた… 孟宗竹の旺盛な繁殖力で、竹やぶは西日本を中心に拡散を続け、温暖化の影響で北限が上昇している… 食のグローバル化・プラスチック素材の台頭で、急速に担い手不足が進み、人的管理がなされない竹林は竹やぶ化し、さらには地下室により拡散しています。結果、地上のみならず土壌においても多様性を欠き、追いつきをかけるように、「気候危機」で頻発する豪雨で、土砂災害を誘発しています。 行政の予算もない、民間事業による素材としての活用もない、結果として、野放図に拡散する…この悪循環を断ち切りたいとの思いで、平成28年（一社）九州循環共生協議会を設立し、試行錯誤の活動を始めることになりました。 「人的管理 野放図な竹やぶ拡散防止 生物多様性保全」という構図は見えてきましたが、「人的管理」の「経済的動機付け」、つまり、「竹の産業化」が確立しないと、誰も（地主は）竹やぶを整備しようとしません。そこで、私たちは、企業の皆様とともに、SDG s という共通の価値観で、この現状を打破できないか？と、新たな、活動（SDG s バンブープロジェクト）を始める事としました。 「SDG s 共鳴型流通」の構築 厄介者の荒廃竹林を「逆に」活用した、有用な商品・サービスのサプライチェーンを共同創造しませんか？ 例えば、以下のようなアクションが考えられます。 社員のボランティアでメンマの原料を収穫（竹やぶ元凶の除去 出るを抑える竹林整備）、百貨店やレストランなどで、 「食べて里山保全/SDG s」等の商品企画やキャンペーン、メーカーやサービス業等の企業における、社員や労働組合への、「里山保全・国産メンマ」の先行購買（による地方竹活用産業の人的件費・製造費の前払い キヤッシュフロー支援）、社員や労働組合への「竹パウダー・酵素風呂」回数券販売
TEL	070-5415-2935
E-mail	eco.yamamura@gmail.com

※本内容は、提案者からの申請書に、事務局にて行った提案者への聞き取り結果を付記しています。